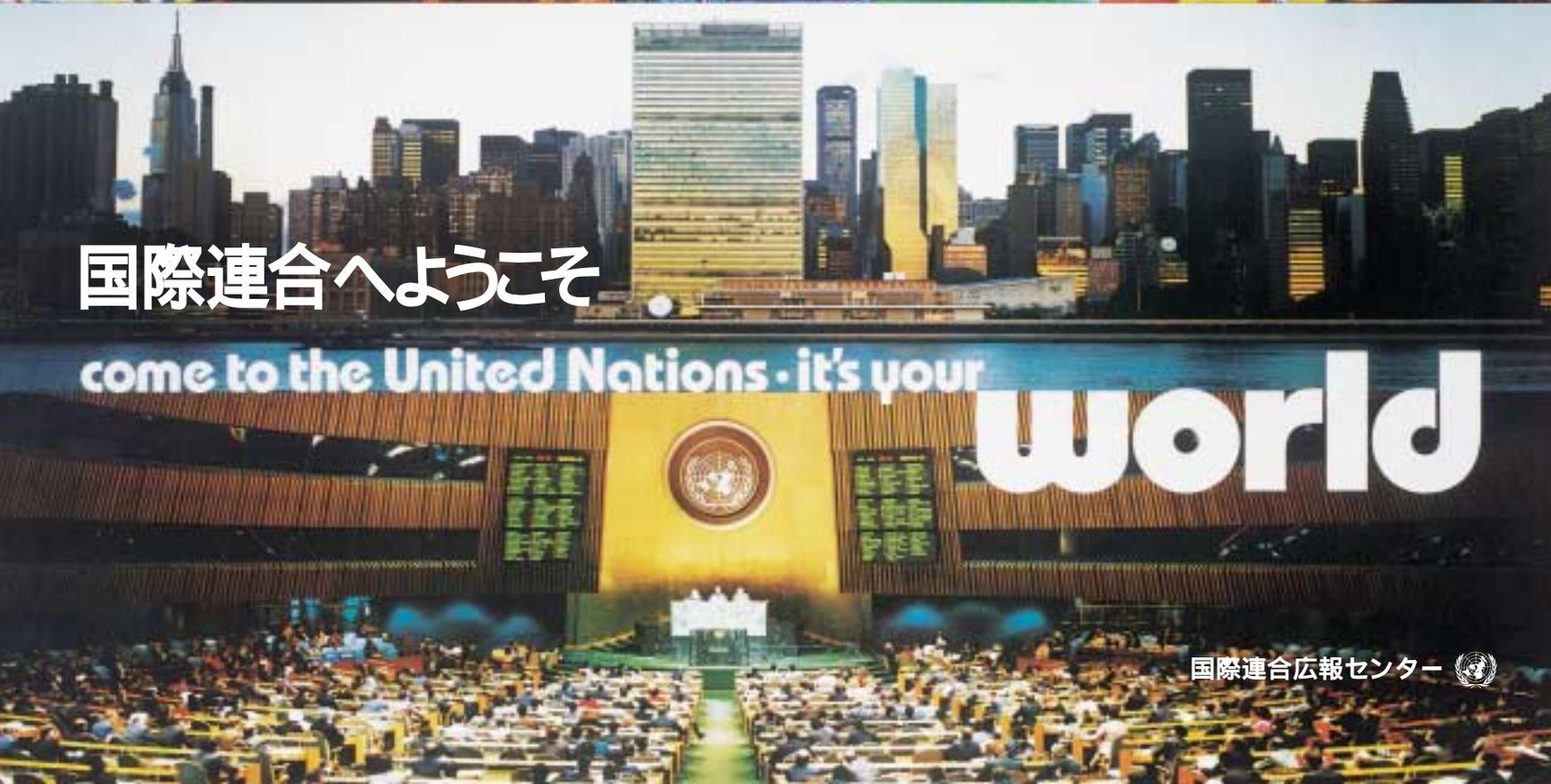




国際連合へようこそ

come to the United Nations · it's your

world



国際連合広報センター





## 国連ミレニアム・サミット出席者集合写真

2000年9月6日～9日まで開催された国際ミレニアム・サミットに、149カ国の元首・首脳と40カ国の閣僚が国連本部に結集しました。



前から2列目、右から7番目 森首相（写真提供：テリィー・ディグロウ/イーストマンコダック社）



## われら連合国の人民は、

われら一生のうちに二度まで言語に絶する悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救い、

基本的人権と人間の尊厳および価値と男女および大小各国の同権とに関する信念をあらためて確認し、

正義と条約その他の国際法の源泉から生ずる義務の尊重とを維持することができる条件を確立し、

一層大きな自由の中で社会的進歩と生活水準の向上とを促進すること



シングル・フォーム：ダグ・ハマーショルドの希望を受け、バーバラ・ヘップワース（英国）が創作したブロンズ製の自由な抽象的造型。国連の第2代事務総長（1953～1961年）を務めたハマーショルド氏は、事務局ビル正面の円形広場にふさわしい

彫刻を飾りつける希望を表明していました。ハマーショルド氏はコンゴでの和平交渉中、北ローデシア（現在のザンビア）で航空機事故に遭い、他界しましたが、彫刻の除幕式が行われたのは、それから3年後の1964年6月のことでした。

ならびに、このために、

寛容を実行し、かつ、善良な隣人として互いに平和に生活し、

国際の平和および安全を維持するためにわれらの力を合わせ、

共通の利益の場合を除く外は武力を用いないことを原則の受諾と方法の設定によって確保し、

すべての人民の経済的および社会的発達を促進するために国際機構を用いることを決意して、



これらの目的を達成するために、われらの努力を結集することに決定した。

よって、われらの各自の政府は、サンフランシスコ市に会合し、全権委任状を示してそれが良好妥当であると認められた代表者を通じて、この国際連合憲章に同意したので、ここに国際連合という国際機構を設ける。

国連憲章前文

**平和の鳩**：教皇イノケンティウス3世の治世（1198～1216年）に、コンスタンティヌス時代の聖ペテロ寺院に描かれたモザイク画の複製で、1979年に教皇ヨハネ・パウロ2世から国連に寄贈されました。使用されているエナメルは1727年製、フレームは1796年製で、金めっきブロンズでできています。この作品は総会議場のロビーにあります。

## 国連は国際機関であり、世界政府ではありません。

この**平和の鐘**は、60カ国以上の貨幣から鑄造され、日本国際連合協会から寄贈されました。鐘の片側には日本語で、「世界絶対平和萬歳」と記されています。平和の鐘は現在、事務局ビルの西中庭に置かれています。



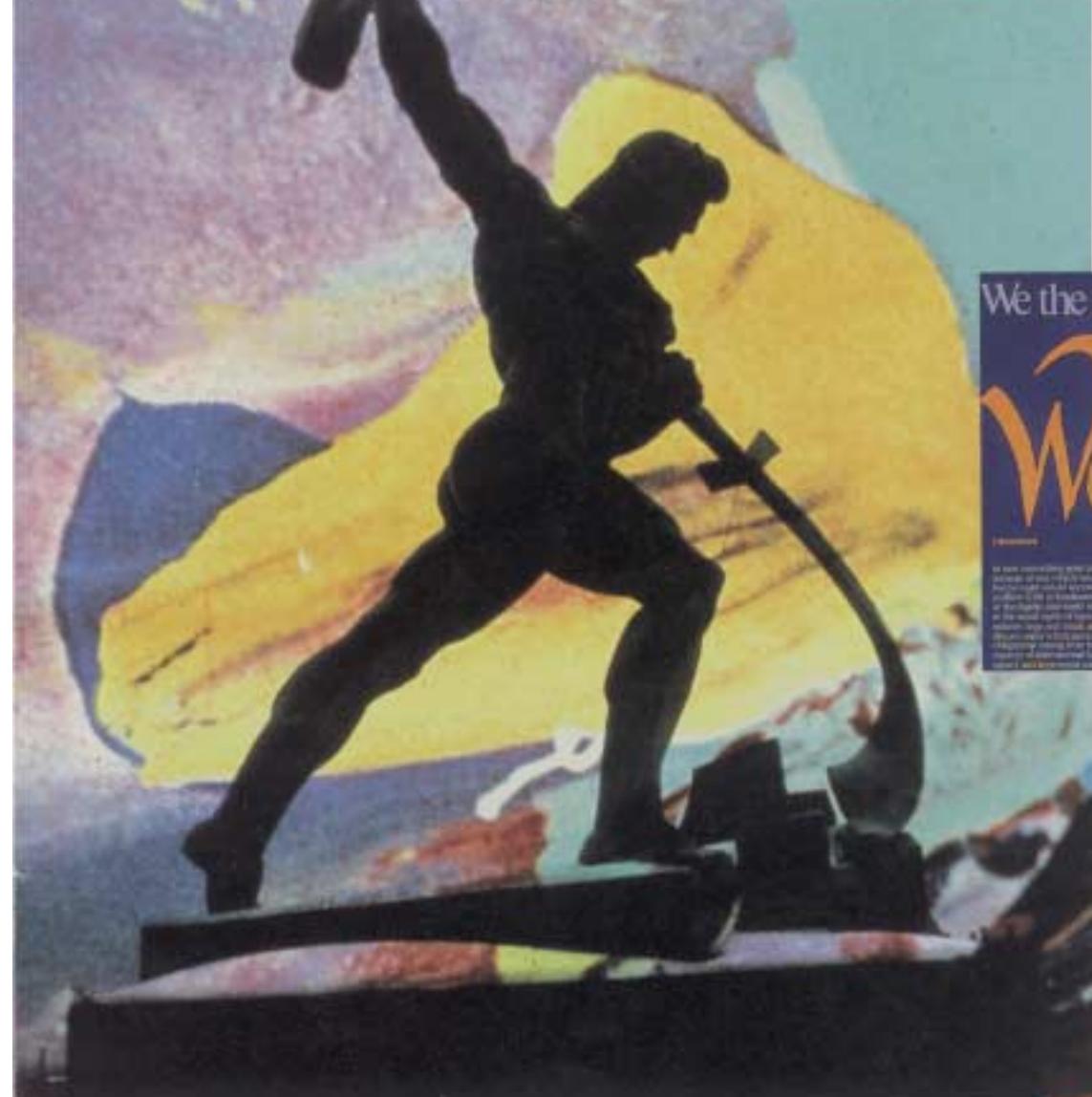
国連は主権国家で構成される組織です。これらの国々は自発的に国連に加盟し、世界平和の実現、あらゆる国家間の友好関係の促進、および、経済的、社会的進歩の支援に努めています。国連が正式に成立したのは、1945年10月24日のことでした。当時の加盟国は51カ国でした。現在（2000年9月末現在）の国連加盟国

は189カ国に達しています。

国連は事実上、世界のあらゆる国にとって話し合いの場となっています。国連は各国に対し、紛争あるいは問題の解決を助け、人類のほとんどすべての関心事項に対処するためのメカニズムを提供しています。

国連は「諸国家の議会」と称されることもありますが、超国家機関でもなければ、各国政府の上に立つ政府でもありません。国連には軍隊がなく、課税も行いません。その決定を実施するには加盟国の政治的意思が必要であり、その活動の費用は、加盟国の拠出金によってまかなわれます。

国連は国際緊張を緩和させ、紛争の防止をはかり、また発生した戦闘を停止させることで、中心的な役割を果たしています。国連は私達の環境、宇宙、そして海底の問題を取り扱っています。国連の活動によって多くの病気が撲滅され、食糧の増産も可能となりました。国連は難民のケアと保護を行い、世界中の人々が読み書きができるようにしようと努め、自然災害には素早く対応しています。国連はまた、人権の世界的基準を設定することによって、個人の権利を擁護し、推進しています。



国連憲章前文の複製ポスター

剣を鋤に打ち直そう。

エフゲニー・ブチェティッチが創作し、ソ連から国連に寄贈されたこの彫刻は、国連本部の北庭の部分に置かれています。



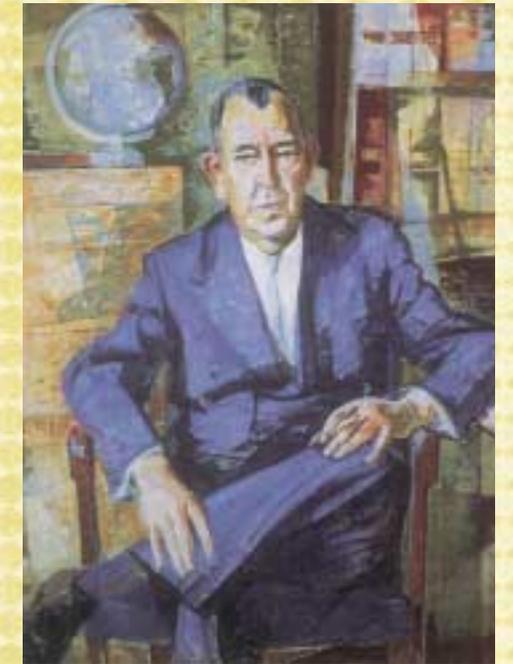
**非暴力**：銃身を縛られた口径45ミリピストルのブロンズ製レプリカで、スウェーデンの芸術家カール・フレデリック・ロイテルスワルトの手によるものです。ルクセンブルクから寄贈されたこの彫刻は、45丁目の1番街に面した総会ビル前広場に置かれています。

## 国連の6つの主要機関

国連には総会、安全保障理事会、経済社会理事会、信託統治理事会、国際司法裁判所および事務局の6つの主要機関があります。国際司法裁判所はオランダのハーグに置かれていますが、その他の機関はすべて、ニューヨークの国連本部に置かれています。

ニューヨークの国連本部は国連の主たる神経中枢の役割を果たしていますが、全世界の主要都市に置かれた事務所からも、いくつかの重要な活動が指示されます。さまざまな国連機関の会合が、本部以外の場所で開催されることもしばしばあります。

例えば、経済社会理事会は通常会期の2回に1回をジュネーブで開催しているほか、総会の特別委員会は世界各国で頻繁に会合を開いています。人口、食糧、環境、人権などの問題に関する会議も世界各地で開催されています。



「国連は、それを支持する諸国の集団的意思に勝つことはありません。国連はそれ自身では何もできないのです。国連は諸国家が協力できる機構です。国連はその活動と経験に照らして利用し、発展させることが可能です。さもなければ、それは破壊されてしまうかもしれません。」

**トリグブ・リー**（ノルウェー）

初代国連事務総長、1946～1952年

## 総会



**総会議場の投票掲示板。**議長席の後方上部にあるこの掲示板には、投票の結果が表示されます。総会での投票は電子式で行われます。各国代表団は、テーブルの上にあるボタン（緑が「賛成」、赤が「反対」、黄色が「棄権」）を押して、その投票を知らせます。



この**象牙製彫刻**は、中国の成都・昆明鉄道の建設を描いたもので、300kgを越える象牙8本から彫られています。中国から寄贈されたこの彫刻は現在、会議ビルと総会ビルを結ぶ3階の通路に展示されています。

総会は国連の主要な審議機関で、すべての加盟国から構成されます。総会は国連憲章に関連して発生するあらゆる問題を検討し、国連加盟国に勧告を行うことができます（安全保障理事会で検討中の紛争あるいは事態に関するものを除く）。総会では、大国、小国に関係なく、各国はそれぞれ1票の投票権を持ち、重要な決定は3分の2の多数決で行われます。

総会は毎年、9月から12月にかけて開かれます。安全保障理事会の要請、あるいは、国連加盟国過半数の要請により、特別総会を開くこともできます。

青、緑、金の3色に彩られる総会議場は、189カ国の代表団をすべて収容できます。各国代表団の席はそれぞれ6つで、上級代表者用のテーブル付きの席が3つと、その後方に他の代表者用の席が3つ用意されています。総会議場の1898席にはすべてイヤホンが備え付けられており、議場で話されている言語が、国連の6つの公用語（アラビア語、中国語、英語、フランス語、ロシア語およびスペイン語）のいずれかの通訳にチャンネルを合わせることができます。



## 安全保障理事会



シャガールの窓(ステンドグラス): 平和と人類の幸福というテーマを描いたマルク・シャガール(フランス)によるこの作品は、総会ロビーの西側に置かれています。

国連憲章によると、安全保障理事会の第一の責任は、平和と安全を守ることです。理事会は平和が脅かされた場合、いつでも招集することができます。加盟国はその決定を実施する義務を負います。平和に対する脅威の問題が付託された場合、理事会は通常、平和的手段によって合意に達するよう、まず当事国に要請します。戦闘が発生すると、理事会は停戦の確保に努めます。理事会はその上で、平和を回復するために、紛争地域に平和維持部隊を派遣したり、経済制裁や禁輸措置を求めたりします。

安全保障理事会は15カ国で構成されますが、そのうち中国、フランス、ロシア連邦、英国および米国の5カ国は常任理事国です。非常任理事国10カ国について

は、地理的配分を考慮にいれて、総会が2年の任期で選出します。決定を行うためには9カ国の賛成が必要ですが、手続事項を除き、常任理事国が1カ国でも反対票を投じれば決定を行うことができません。これがいわゆる「拒否権」として知られているものです。理事会を拡大し、新たな常任・非常任理事国を加えることを望む国も多くなっています。

安全保障理事会議場は、ノルウェーのアルンスタイン・アルネベルク的设计によるもので、ノルウェー政府から寄贈されました。ペール・クローグ(ノルウェー)による大きな壁画が東側の壁のほぼ全体を覆っています。それは未来の平和と個人の自由の約束を象徴したものです。傍聴者用に164席と、プレス用に118席が設けられています。



## 経済社会理事会



**平和の勝利。**ベルギーから寄贈されたこの壁掛けのつづれ織は、ペーター・コルフスがデザインしたものです。14人の芸術家と職人は、この42.5×28.5フィートの巨大なつづれ織を創作するために、9万4,000マイルもの糸を編み合わせました。現在は総会ロビーへの階段の近くに掛けられています。

経済社会理事会は、経済・社会の領域における国連活動を計画し、その優先度を定める重要な機関です。理事会はすべての地域を代表する54カ国から構成されます。経済社会理事会は、開発途上国の経済成長を促進し、人権を支援し、かつ、貧困や低開発と闘うための世界的な協力を進める活動を勧告し、指示を与えます。

特定の必要に応えるため、総会は国連食糧農業機関（FAO）、世界保健機関（WHO）、国連教育科学文化機関（UNESCO - ユネスコ）などの専門機関や各種の計画や基金、たとえば国連開発計画（UNDP）、国連児童基金（UNICEF - ユニセフ）、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）など、数多くの機関を設置しました。これら機関の活動は、経済社会理事会が調整します。

経済社会理事会議場は、スウェーデンのスペン・マルケリウスが設計し、同国政府が国連に提供しました。議場の傍聴席はくすんだ色彩と特殊な天井処理を施されているため、劇的な効果が生まれています。通常であれば視界から隠される配管部分が、ここでは大胆にも露出され、黒、灰色、白の3色に彩られているため、機能的な付帯設備が装飾と一体化しています。対照的に、各国代表団の席は明るく、照明器具は釣り天井に隠されています。



## 信託統治理事会

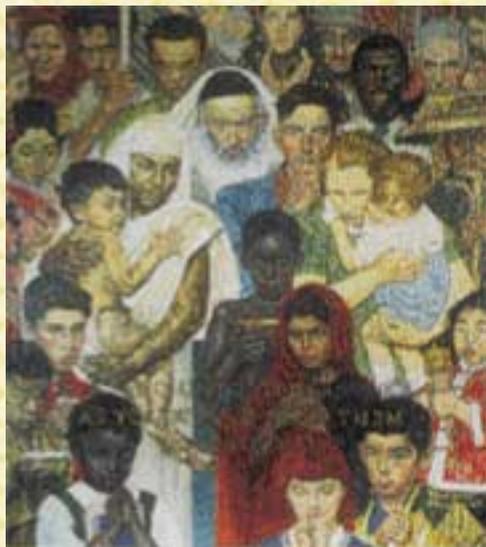


この両手を上げた女性像は、ヘンリック・スタルケ(デンマーク)がチーク材から彫ったもので、信託統治理事会議場の壁に掛けられています。

国連憲章によれば、信託統治理事会は、国際信託統治制度の下に置かれた信託統治地域(以前の植民地あるいは従属地域)の行政を監督する責任を負わされています。この制度は第2次世界大戦が終わった時に、これら従属地域の住民の向上と、その自治あるいは独立に向けた漸進的發展を促進するために創設されました。

信託統治理事会の創設以来、当初の11の信託統治地域すべてを含む70以上の植民地が、国連の援助を受けて独立を達成しました。その結果、理事会は1994年、その活動の停止を正式に決定し、必要に応じて適宜、会合を開くことになりました。

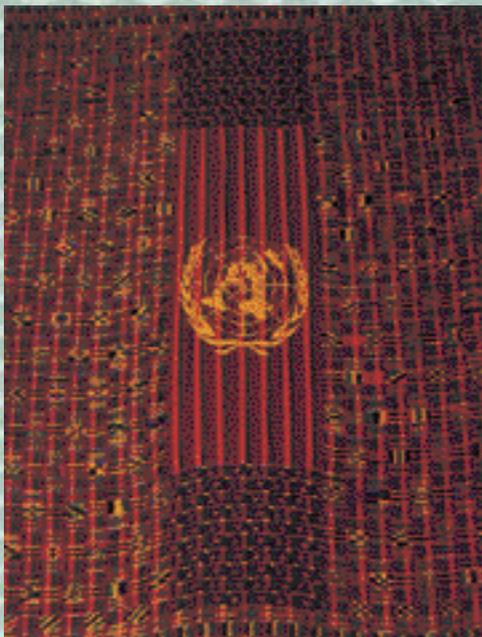
信託統治理事会議場  
デンマーク人のフィン・ユールが設計し、デンマークが国連に提供しました。



人からしてもらいたいように人にしてやるべし。さまざまな国の人々を描いたノーマン・ロックウェル(米国)によるモザイク画には、この言葉が刻まれています。このモザイク画は3階の経済社会理事会議場付近に飾られています。



## 国際司法裁判所



国際司法裁判所は国連の主要な司法機関です。「世界裁判所」とも呼ばれる国際司法裁判所の裁判官は15名で、それぞれ異なる国から総会と安全保障理事会によって選任されます。裁判所は国際法に従って、国家間のみならず法律紛争の解決をはかるもので、個人間の紛争は取り扱いません。特別の条約規定によって義務づけられていない限り、裁判手続への参加を望まなければ、そうする必要はありません。しかし、いったん国際司法裁判所の管轄権を受け入れた場合は、その判決に従わなければなりません。

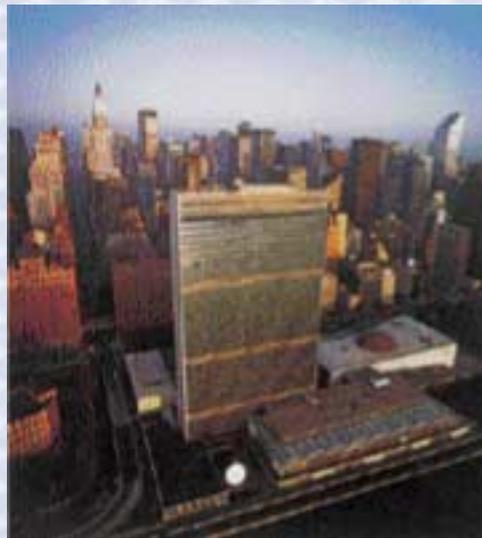
この伝統的アシャンティ式の二重織りケンテ(手織物)は、平和、友好および正義を確立しようとする国連の努力を記念し、ガーナ政府から寄贈されました。このデザインのスタイルは「アドウェネ・アサ」と言って、「合意が達成された」という意味があります。この織物は現在、国連本部の総会ビル2階に展示されています。

国際司法裁判所はオランダのハーグにあります。裁判所の事務所がある「平和宮殿」は、現在の裁判所の前身である常設国際司法裁判所の本部として、民間の非営利組織「カーネギー財団」が建設したものです。国連は毎年、建物の使用料として、同財団に寄付を行っています。

オランダのハーグにある国際司法裁判所



## 事務局



国連本部（ニューヨーク）全世界から集まった4700人以上の人々がここで働いています。

事務局はさまざまな国連機関に役務を提供し、また各種国連活動を管理する機関で、ニューヨークの国連本部や世界各地で働く国際公務員から構成されます。これらの職員は国連の日常業務を遂行します。国連職員はほぼ9000人を数え、およそ170の国々から集まった人々です。

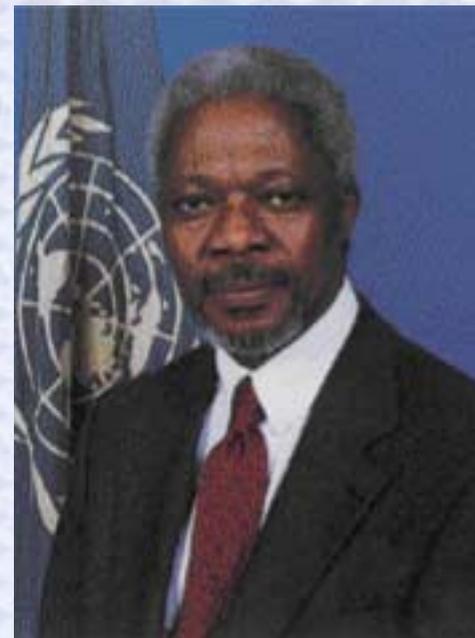
事務局の長を務めるのが事務総長です。事務総長は安全保障理事会の勧告により、総会が5年の任期で任命します。国連の行政に最高の責任を有する者として、事務総長は国連の活動を統括するだけでなく、国連のさまざまな機関が行った決定を実施する責任もあります。

事務総長は、国際の平和と安全を脅かしかねないと自らが考えるいかなる問題についても、安全保障理事会の注意を喚起することができます。事務総長は紛争を防止し、あるいは国際紛争の平和的解決を図るため、「斡旋」を行なうこともあります。事務総長はまた、自らの発意により、人道問題または特別な重要性を有するその他の問題も取り扱うことができます。

「私達が勝利を収めたときは拍手を、失敗した時はそれを正して頂きたい。しかし何よりも、加盟国の無関心、不注意あるいは財政困難のために、この不可欠かつかけがえのない機関を衰退させ、無気力にし、また滅亡させたりすることのないよう、お願いしたい。」

国連の創設以来の事務総長は、次の7人だけです。

トリグブ・リー（ノルウェー）1946～1952年  
 ダグ・ハマーショルド（スウェーデン）1953～1961年  
 ウ・タント（ビルマ、現ミャンマー）1961～1971年  
 クルト・ワルトハイム（オーストリア）1972～1981年  
 ハビエル・ペレス・デクエヤル（ペルー）1982～1991年  
 ブトロス・ブトロス＝ガーリ（エジプト）1992～1996年  
 コフィー・アナン（ガーナ）1997年～



国連事務総長  
コフィー・アナン



## 世界が出会う家

現在の国連本部の敷地はかつて、食肉処理場、町工場、電車車庫などがあった荒れ果てた土地でした。片側の1番街ではトラックが激しい音を立てて行き交い、もう一方のイースト・リバー・ドライブでは、乗用車が猛スピードで走っていました。今日では、39階建ての国連ビルが空高く聳え立ち、この場所の眺めも一変してしまいました。当初、ニューヨークは国連本部の設置場所としては検討もされていませんでした。欧米のいくつかの都市が誘致活動を行っていたからです。常時航海を行う船の上に国連を設置し、恒久的な世界周航状態に置くという案さえ出されました。

1946年に第1回総会がロンドンで開会されてから、常設本部の場所が決定する



まで、国連は漂流者のような存在でした。1946年3月、国連はロンドンからニューヨーク州ブロンクスのハンター・カレッジへと移り、さらに1946年8月には、ニューヨーク州レイク・サクセスのスペリー・ジャイロスコープ・プラントへと移転しました。レイク・サクセスへの移転前に、安全保障理事会はマンハッタンの5番街にあるヘンリー・ハドソン・ホテルで2、3回会合を開いたこともありました。

1945年12月10日、米国議会は国連常設本部の米国国内への設置を招請しました。この招請を受け入れる決定は1946年2月14日、ロンドンの第1回総会で行われました。総会はまた、現在の国連本部の敷地を購入するため、ジョン・D・ロックフェラー2世から850万ドルの寄付を受け入れました。ロックフェラーからの寄付に呼応して、ニューヨーク市は敷地内および隣接地の一部の土地を寄贈しました。

国連本部ビル  
1989年10月

この敷地の面積は18エーカー(約72,800m<sup>2</sup>)で、国連が所有し、国際領土となっています。国連は敷地内に自前の消防隊や警備員を有しているほか、国連本部には米国政府の郵便局が置かれ、国連切手が販売されています。

本部ビルの設計は、ウォーレス・K・ハリソン(米国)が率いる世界的に著名な11人の建築家チームが担当しました。設計者たちは当初、8500万ドルをかけて45階建てのビルを建設しようとしていました。後に、建設費用が2000万ドル削減され、ビルの規模も39階建てに縮小されました。国連ビルの定礎式は1949年10月24日に行われました。それから19ヵ月後の1951年8月21日、事務局職員は新たな職場への引越を開始しました。

国連本部は事務局ビル、会議ビル(理事会議場、会議室および食堂施設からなる)、総会ビル、図書館、地下3階建ての印刷工場、カフェテリアなど、いくつかの建物から構成されており、それぞれのビルは相互に接続されています。また、地下3階建ての駐車場は、1000台以上の車が収容できるようになっています。

国連本部の敷地に選ばれた場所。41丁目のチューダー・シティから北に48丁目を眺めたところ。  
1949年10月。



「国連は戦争の渦中に構想された機関であり、その第一の任務は平和と安全の追求でなくてはなりません。過去50年間、国連は世界戦争と核による人類の滅亡の防止に貢献してきました。残念なことに、国家間の紛争や国内紛争は今でも続いています。1945年から現在まで、2000万人が犠牲となって命を失いました。」

ビル・クリントン米大統領  
1997年9月22日の総会演説

## 平和は夢ではない



国連のブルー・ヘルメット



1988年、国連の平和維持活動はノーベル平和賞が授与されました。国連がノーベル委員会から平和賞を受賞したのはこれで5度目になります。それ以前には国連難民高等弁務官（1954年と1981年）、国連児童基金（1965年）および国際労働機関（1969年）が受賞しています。

青いヘルメットをかぶった国連平和維持要員は、国連の和平努力を目に見える形で示す象徴であると言えます。平和維持要員は各国の軍隊から自発的に提供された兵士で構成され、公平な第三者としての役割を全うします。平和維持要員は、停戦の実現を助け、その維持をはかり、また、紛争当事者間の緩衝地帯となります。その存在は、外交経路を通じた紛争の平和的解決を可能にする手助けとなります。平和維持要員が現地での平和を維持している間に、国連の調停者は紛争当事者あるいは当事国の指導者と会談し、平和的解決の達成に努めます。

最近の平和維持活動は、単に平和を維持することに止まりません。現在では地雷の除去、道路や橋の補修、選挙の監視、

また国民の人権が尊重されているかを見守ることなどの活動も含まれます。

1948年以来、75万人を超える軍事・文民警察要員や数千人におよぶ文民が、約50件の平和維持活動に参加してきました。任務遂行中に命を落とした人の数は、1500人近くに上ります。



国連の地雷除去要員。全世界の64ヵ国以上に埋設されている地雷によって毎年、少なくとも1万の人々が命を失い、その2倍の数の人々が負傷しています。1個の地雷は3ドルから10ドルで買えますが、その除去には300ドルから1000ドルがかかります。国連は地雷の生産、販売および使用を禁止する国際条約の採択を求めてきました。

「自由で公正な選挙」を求めるステッカーを掲げるナミビアの子供たち。長年にわたり、南アフリカからナミビアの独立を勝ち取る国際キャンペーンを主導してきた国連は、1989年の国民選挙の監視を行いました。これにより、ナミビアは1990年に独立を達成することができました。



## みんなの人権



**キュロスの勅令**。ペルシア帝国を建設したキュロス大王は、紀元前539年のバビロン陥落後、バビロニア人の権利と福祉を保証する勅令を公布しました。多くの人々はこれを、史上初の人権宣言だと考えています。1971年にイランから寄贈されたこの銘板は、信託統治理事会と安全保障理事会の議場を結ぶ2階部分に展示されています。

1948年に国連が採択した「世界人権宣言」は、すべての国々にとって人権の共通な基準となりました。この宣言によって、各国政府は、人種や宗教に関係なく、富める者も貧しい者も、強い者も弱い者も、男も女も、すべて平等に扱われるようにする義務を受け入れるよう期待されています。

それ以来、国連は女性の権利、人種差別、子どもの権利など、人権に関する数多くの国際条約を採択してきました。これら条約の締約国となる政府は、それを順守する義務を受け入れることとなります。違反が発生した場合には、条約によって特別に設置された機関がそれを審査し、そうした状況を是正するための勧告を行います。国連はまた、国際人権条約の義務に違反した国を非難することもできます。



国連児童基金（ユニセフ）と世界保健機関（WHO）の主導のもとに、国連はジフテリア、はしか、百日ぜき、ポリオ、結核および破傷風の6つの致命的な病気について、予防接種普及キャンペーンを展開しています。このキャンペーンにより毎年、300万人以上の子どもの命が救われています。



世界の人々の6人に1人は読み書きができません。そのうちのほぼ3分の2が女性です。女性は世界の貧困層の70%以上を占めています。また、女性の賃金は低く、場合によっては男性の4分の1に抑えられています。1979年、国連は「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」を採択しました。160カ国以上がこの条約を批准しており、100カ国以上から男女の平等に向けて進展が見られたとの報告が出されています。



1989年の「子どもの権利に関する条約」を批准した国は、現在までに191カ国に上り、国際条約としては最多の数に達しています。この画期的な人権条約は、それぞれの子どもが生まれながらにして生命に対して固有の権利を有することを確認しています。同条約は各国に対し、いかなる差別もなく、あらゆる子どもにその条項を適用するよう義務づけています。

## 開発は平和の別名

環境の悪化に国境は関係ありません。ある国で硫黄が排出されれば、風下の別の国で酸性雨が降ります。ある国で使用されたフロンガスによるオゾン層の破壊は、地球の反対側の国で皮膚がんを引き起こす可能性があります。国連は気候変動、大気・水質汚染、生物種の絶滅、その他多くの問題を防止するために各国政府を結集させ、それによって環境の保全を助けています。1992年にリオデジャネイロで開催された**地球サミット**(国連環境開発会議)では、各国政府指導者が、持続可能な開発のための地球的計画である**アジェンダ21**を採択しました。



世界では今、約12億人の人々が絶対貧困(1日の所得が1ドル以下)の中で生活しています。これらの人々は、十分な食糧、安全な水、信頼できる医療、適切な住居、それに、基礎教育、訓練および生計を維持する機会といった、人間らしい生活に不可欠な基礎的要因にアクセスできないことがしばしばあります。万人の

ための社会経済開発が達成されるまで、恒久的な世界平和は実現できません。国連はその資源の80%以上を、この目標達成のために使っています。

戦争、飢餓あるいは自然災害に見舞われた国に対し、国連はいち早く緊急援助を提供します。こうした救援の一部は、世界食糧計画やユニセフなど、国連機関からの直接援助の形で行われます。国内インフラの整備など、長期的な開発ニーズについては、**国連開発計画(UNDP)**が調整を担当します。もう一つの国連機関である**国連難民高等弁務官事務所**は、全世界で2200万人を越える難民と国内避難民に保護と援助を提供しています。

安全な飲み水は健康な生活にとって基礎的な必要条件です。国連は1980年、できるだけ多くの人々に淡水を供給するための10ヵ年キャンペーンをスタートさせました。その結果、開発途上国の11億人の人々が、安全な飲み水を手にできるようになりました。しかし今も開発途上国の13億人以上の人々が安全な水を手に入れることができていません。





1999年のはじめ、アルバニア出身の80万人を超える人々が「民族浄化」から逃れるため、コソボを後にしました。しばしば、ほとんど着の身着のまま、数分のうちに家を離れるよう強制された人々も多くいました。難民が近隣諸国に流入を続けていることを受け、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）は避難所、食糧および医療援助を提供する国際的な努力の先頭に立ちました。

## 国際連合へようこそ、それはあなたの世界です。

国連本部は、ニューヨークでもっとも人気のある観光名所の一つとなっています。毎年、100万人を超える人々が国連ビルを訪れますが、その少なくとも半分は国連の提供するガイド・ツアーに参加しています。

国連のガイド・ツアーは20ヵ国語で行われています。国際的に採用されたガイドが案内するこのツアーでは、各国の代表が一堂に会し、地球的な関心事項について話し合う主要な会議場や会議室をご覧になれます。ほとんどのツアーでは、総会の模様がご覧になれます。また理事会が開かれていなければ、安全保障理事会の議場もご覧になれます。また、加盟国から寄贈された興味深い品々や美術作品もご覧になることができます。



## ガイド・ツアーについて

**時間:** 英語のツアーは毎日、午前9時15分から午後4時45分まで約30分間隔(1月と2月の週末は休業)で行われます。見学時間は変更されることがあります。詳しくは(212)963-8687までお問い合わせください。

**入場料:** ツアーの一般入場料は大人7ドル50セント、高齢者5ドル50セント、学生(高校生、大学生)4ドル50セント、子ども(小中学生)3ドル50セントです。5歳未満の子どもは無料です。

**団体ツアー:** 15人以上の団体は、事前にツアーの予約が必要です。予約先と照会先は以下のとおりです。

Guided Tour Reservations,  
Room GA-63,  
United Nations, New York, NY 10017

月曜日から金曜日までは電話 (212) 963-4440でも承っております。

**特別講義:** 20人以上の団体については、国連事務局職員による特別講義を無料で提供しています。事前の手配については、以下にお問い合わせください。

Group Programme Unit, Room GA-61,  
United Nations, New York, NY 10017

月曜日から金曜日までは電話 (212) 963-7710でも承っております。

**ギフトセンター:** 地下1階部分の広場に設けられているギフトセンターは年中無休で営業しています。国連の記念品や全世界から集められたギフトも含め、さまざまな土産物が販売されています。詳しくは電話 (212) 963-7700まで。

**駐車場:** 一番近い公共の駐車場は、43丁目と44丁目(2番街と3番街の間)にあります。

**車椅子の利用:** 国連ビルは障害者の方々でも見学できます。ガイド・ツアー用に、車椅子も用意しています。

**広報:** 国連の活動についてお知りになりたい方は、以下にお問い合わせください。

Public Inquiries Unit, GA-57,  
United Nations, New York, NY 10017  
Tel: (212) 963-4475/9246  
Fax: (212) 963-0071  
E-mail: [inquiries@un.org](mailto:inquiries@un.org)



国際連合広報センター 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70国際連合大学ビル 8階  
 Tel:(03)5467-4451、Fax:(03)5467-4455、Home page:<http://www.unic.or.jp>  
 E-mail:[unictok@blue.ocn.ne.jp](mailto:unictok@blue.ocn.ne.jp)



国際連合へようこそ  
それはあなたの世界です。

ミレニアム総会のハイビジョン・スクリーンによる中継が、NHKの協力で可能となりました。(写真提供：NHK)